

応募について

【一般社会人のためのスポーツ実技講座】『バドミントン 初・中級編』

受講希望者は、申し込みが必要です。全7回の講座ですので、途中参加はできません。

- 対象 初心者と上級者を除き、基礎打ちができる初級および中級者
- 定員 先着順/40名(定員になり次第、締め切ります)
- 受講料 7回一括/4,000円(シャトル代・保険料等含む)
- 講座時間 9:30~12:00(休憩あり)



Googleフォーム  
によるお申込み

▼申し込み方法(3月30日(月)より受付開始)

※講座日程については、今後、変更する可能性があります。  
開催日の変更等についてはHPをご確認ください。

■【Googleフォーム】又は【FAX】にて以下の①~⑦を記入の上、お申し込みください。

①氏名 ②生年月日 ③住所 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥緊急の連絡先(本人以外の電話番号)をお知らせください。⑦メールアドレス  
申込先：FAX=0743-63-7505 TEL=0743-63-9007 天理大学社会連携センター室

- ※受講料(4,000円)は第1回目の受付で徴収いたします。
- ※一旦納入いただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。
- ※受講許可者には、後日メールにて連絡します。講座当日は直接会場(天理大学体育学部キャンパス)へお越しください。

『人文学へのいざない』

各回ごとの事前申し込みが必要です(全6回)。

- 講座時間 受付：13:00/講演：13:30~15:30

▼申し込み方法 阿倍野市民学習センター 往復ハガキ、インターネット、来館にて受付  
申込先：住所=〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階

- 定員 60名(多数抽選)
- 詳細は、tel:06-6634-7951  
阿倍野市民学習センターに  
お問い合わせください。

『「大和学」への招待』  
—橿原市の歴史と文化—

事前申し込み不要です。当日、直接会場へお越しください。

- 問合せ 天理大学社会連携センター室 tel:0743-63-9007
  - 講座時間 受付：13:00/講演：13:30~15:00
  - 定員 50名
- 定員を超える来場者があった場合、入場を制限することがありますので、ご承知おきください。

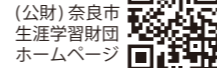
『多文化理解へのいざない』

各回ごとの事前申し込みが必要です(全3回)。

- 問合せ 奈良市生涯学習センター tel:0742-26-8811
- 講座時間 受付：13:00/講演：13:30~15:00
- 定員 80名(多数抽選)

▼申し込み方法 【往復ハガキ】での受付 ①講座名②名前③住所④電話番号⑤年齢を記入してください。  
もしくは【ネット申込:10月下旬~】

申込先：住所=〒630-8357 奈良市杉ヶ町23 奈良市生涯学習センター URL: manabunara.jp  
申込締切:第1回「多様性に富む英語」…11月11日(水)、第2回「中国の雅楽と日本の雅楽」…11月18日(水)  
第3回「江戸時代の朝鮮通信使から考える日韓交流」…11月25日(水) 詳細は、奈良市生涯学習センターにお問い合わせください。



『ウェルネスライフのすすめ』

事前申し込み不要です。当日、直接会場へお越しください。

- 問合せ 天理大学社会連携センター室 tel:0743-63-9007
  - 講座時間 受付：13:00/講演：13:30~15:00
  - 定員 50名
- 定員を超える来場者があった場合、入場を制限することがありますので、ご承知おきください。

会場について



『バドミントン 初・中級編』  
●会場:天理大学 体育学部キャンパス 総合体育館内(サブアリーナ)  
天理市田井庄町80 (近鉄、JR「天理」駅より徒歩約10分)



『ウェルネスライフのすすめ』  
●会場:かしはら万葉ホール  
奈良県橿原市小房町11-5 (無料駐車場:約450台駐車可能) ※但し、中央公民館・中央体育館との併用になります。(近鉄「畷御陵前」駅より徒歩約15分)



『人文学へのいざない』  
●会場:あべのベルタ3階  
大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 (近鉄「大阪阿部野橋」駅より阿倍野筋を南へ約300メートル・Osaka Metro谷町線「阿倍野」駅7番出口直結)



『多文化理解へのいざない』  
●会場:奈良市生涯学習センター(3F 学習室1・2・3)  
奈良市杉ヶ町23 (JR「奈良」駅より徒歩約10分)



『「大和学」への招待 —橿原市の歴史と文化—』  
●会場:かしはら万葉ホール  
奈良県橿原市小房町11-5 (無料駐車場:約450台駐車可能) ※但し、中央公民館・中央体育館との併用になります。(近鉄「畷御陵前」駅より徒歩約15分)

※申込時にご記入いただきました個人情報につきましては、厳重に管理するとともに、当該講座の連絡およびスポーツ実技講座における保険加入手続きの目的のみに使用いたします。



天理大学  
2026 公開講座

天理大学主催 【一般社会人のためのスポーツ実技講座】  
『バドミントン 初・中級編』  
天理大学・阿倍野市民学習センター 共催  
人文学へのいざない  
天理大学・橿原市 共催  
『大和学』への招待  
—橿原市の歴史と文化—  
天理大学・(公財)奈良市生涯学習財団 共催  
多文化理解へのいざない  
天理大学・橿原市 共催  
ウェルネスライフのすすめ

TENRI UNIVERSITY

SOCIETY & COMMUNITY  
CONNECT

【一般社会人のためのスポーツ実技講座】  
**「バドミントン 初・中級編」**  
 [ 9:30~12:00 ]

※開催日は変更する可能性があります。  
 開催日の変更等についてはHPをご確認ください。

対象:初心者と上級者を除き、**基礎打ちができる初級および中級者**  
 各自のラケットと体育館シューズを持参してください。

天理大学体育学部キャンパス 総合体育館(サブアリーナ)

**全7回** **申し込み要[先着順40名]**

受講料: 4,000円(シャトル代・保険料等含む)

講師 | 体育学科 教授 **中谷 敏昭**  
 バドミントンはラケットとシャトルを用いて何回打ち続けられるか、試合で腕試しをするなど、たくさんの魅力があります。講座では、ストロークの基本となる運動を理解して楽しめる内容を用意しました。

第1回 **4/19日** ストロークの基本を学ぼう!

第2回 **4/26日** 力強いストロークのための運動を覚えよう!

第3回 **5/10日** 巧みなストロークを打てるようにしよう!

第4回 **5/24日** ゲームを理解してやってみよう!

第5回 **6/7日** ダブルスゲームに必要な技術を覚えよう!

第6回 **6/21日** ダブルスのフォーメーションを覚えよう!

第7回 **7/5日** ダブルスゲームを楽しもう!

第6回は台風の影響により、  
 下記日程に変更致しました。

天理大学  
**2026公開講座**



**人文学へのいざない**  
 [ 13:30~15:30 ]

大阪市立阿倍野市民学習センター  
 (あべのベルタ3階)

**無料** **申し込み要[定員60名]**(多数抽選)

各回ごとの申込が必要です。

第1回 **5/23日** 講師 | 社会福祉学科 教授 **松原 浩一郎** **応募締切 5/9日 必着**

**社会福祉と福祉の違い:あなたの実践はどっち?**  
 社会福祉という言葉は、広く一般に浸透しています。しかし「福祉」と言ったり「社会福祉」と言ったり、あなたはどんな基準で使い分けていますか。あるいはまったく意識せず、なんとなく使っていませんか?仮に、同じものならば一つの言い方でよいはずですが、二つあるのは、違うからです。あなたの福祉実践はどっちに含まれるのか、考えてみましょう。

第2回 **5/30日** 講師 | 心理学科 教授 **千原 雅代** **応募締切 5/16日 必着**

**不登校と思春期の子ども心の成長**  
 学校に行かない子どもたちは年々増え、2024年度、初めて35万人を超えました。不登校は特に思春期に増えますが、子どもたちは適切な支援があれば、元気になり、やがて社会的に自立していくことが多いです。「学びの多様化学校」での取り組みも踏まえ、子ども理解の視点や適切な支援の在り方について考えます。

第3回 **6/6日** 講師 | 社会教育学科 教授 **山中 秀夫** **応募締切 5/23日 必着**

**拡張する公共図書館:文化的コモンズとしての交流の場**  
 公共図書館は「本を借りる静かな場所」から、人と人、知と経験が出会う「文化的コモンズ」へと拡張してきています。自宅でも職場でもない「第3の居場所」としての価値や、まちづくりの核としての役割を紐解き、人生100年時代を豊かにする「知と交流の拠点」として捉え直し、市民一人ひとりが関わる意義と、図書館の活かし方を考えます。

第4回 **6/13日** 講師 | 宗教学科 准教授 **澤井 治郎** **応募締切 5/30日 必着**

**宗教からみたアメリカ大統領選挙**  
 近年、アメリカ大統領選挙における福音派と呼ばれるキリスト教プロテスタント保守派の影響力の大きさが、日本においても注目されるようになってきました。アメリカは政教分離を国是として定めた史上初の世俗国家だとされることもありますが、政治と宗教は非常に密接な関係にあります。本講座では、最近の大統領選挙を宗教の視点から概観し、その傾向を整理したいと考えています。

第5回 **6/20日** 講師 | 歴史文化学科 教授 **齊藤 純** **応募締切 6/6日 必着**

**お墓で転ぶとどうなる?一猫と人の俗信研究事始め**  
 民俗学が研究しているまじないや禁忌といった俗信、つまり何気ない身近な信仰は、私たちが無意識に伝えてきた伝統的な考え方や文化を知る手がかりになります。そういった俗信のなかから、お墓での人のふるまいと猫に関する不思議な言い習わしを取り上げて、その興味深い分布と地方的な特色、背後にある民間信仰や伝説を探ります。

第6回 **7/27日** 講師 | 国文学国語学科 准教授 **蜂矢 真弓** **応募締切 6/13日 必着**

**一音節名詞 ア・イ・ウ・エ・オ**  
 例えば一音節名詞カの場合は、カ〔蚊〕はそのままの形で生き残り、他のカは、「カ〔鹿〕→シカ〔鹿〕」・「カ〔香〕→カマリ〔香〕」等のように二音節以上の語に形を変えます。では、一音節名詞ア・イ・ウ・エ・オは、それぞれ何がそのままの形で生き残り、何が形を変えたのでしょうか?「国語学」という古代日本語を研究する学問に触れてみてください。

**「大和学」への招待**  
 [ 13:30~15:00 ]

—**橿原市の歴史と文化**—  
 かしはら万葉ホール

**無料** **申し込み不要[定員50名]**

第1回 **10/3日** 講師 | 歴史文化学科 教授 **黒岩 康博**

**コレクターと社会 -19世紀の谷三山蔵書-**  
 近世後期、特に18世紀後半から19世紀にかけて、出版事業の隆盛を背景として、書物の蓄蔵に励む蔵書家という一群の人々が、全国に登場しました。高市郡八木の学者谷三山もその一人ですが、彼の集書は周辺社会にどのような影響を与えたのでしょうか。三山没後の旧蔵書のゆくえも含めて考えます。

第2回 **10/17日** 講師 | 国文学国語学科 講師 **大谷 歩**

**久米歌をよむ -『古事記』神武天皇条の歌謡の世界-**  
 初代天皇の神武天皇は、遠く日向の地から東征し、大和の地へたどり着きました。『古事記』には、神武天皇が多くの敵と戦う記述の中に、天皇に従う久米部という集団がうたう勇ましい歌謡、通称「久米歌」と呼ばれる歌謡群が挿入されています。『古事記』の歌謡は難しい部分も多いのですが、物語をより豊かに語り伝える古代歌謡の世界を考察します。

**ウェルネスライフのすすめ**  
 [ 13:30~15:00 ]

かしはら万葉ホール

**無料** **申し込み不要[定員50名]**

第1回 **10/24日** 講師 | 臨床検査学科 講師 **藤原 美子**

**呼吸筋運動で息切れ防止**  
 息切れしやすくなったと感じていませんか。実は呼吸のしにくさは「肺」だけでなく、呼吸に関わる筋肉の衰えが関係しています。本講座では、呼吸筋の役割をわかりやすく解説し、ストレッチや体操、簡単な筋トレ、童謡を歌う体験を通して、日常生活で実践できる息切れ予防の方法を楽しく学びます。

第2回 **10/31日** 講師 | 看護学科 教授 **奥田 眞紀子**

**家で最期まで暮らすという選択 -終末期の在宅医療と訪問看護の実際-**  
 人生の最終段階をどこで、どのように過ごしたいかは、誰にとっても大切な問いです。本講座では、終末期の在宅医療・訪問看護の実際を紹介しながら、医療や介護を受けながら自宅で穏やかに暮らし、最期を迎えるために、ご本人やご家族が今からできる準備について考えます。

**多文化理解へのいざない**  
 [ 13:30~15:00 ]

奈良市生涯学習センター  
 (3階 学習室1・2・3)

**無料** **申し込み要[定員80名]**(多数抽選)

各回ごとの申込が必要です。

第1回 **11/21日** 講師 | 英米語学科 准教授 **山本 晃司** **応募締切 11/11日 必着**

**多様性に富む英語 -“English”から“Englishes”へ-**  
 英語は国際共通語といってもよいほど世界各国で使われています。しかし、「所変われば品変わる」とあるように、1つのものを指す場合でも表現や発音が異なることもあります。つまり、英語は多様性に富んだ言語なのです。本講座では、その多様性に富む英語の紹介、現時点で予想される将来的な英語の姿についてお話ししたいと思います。

第2回 **11/28日** 講師 | 中国語学科 教授 **中 純子** **応募締切 11/18日 必着**

**中国の雅楽と日本の雅楽 -どこが違ってどこが同じか-**  
 宮中式典はもとより神社仏閣で厳かな雰囲気を出す雅楽は、奈良時代ころに中国から伝えられたとされています。ただ、日本に伝わったのは中国の雅楽ではありませんでした。では中国の雅楽とはどのようなものだったのでしょうか。そして日本の雅楽となりが違うのか、共通点はあるのか。あらためて考えて、雅楽に対する認識を深めてみませんか。

第3回 **12/5日** 講師 | 韓国・朝鮮語学科 教授 **魯 ゼウオン** **締切 11/25日 必着**

**江戸時代の朝鮮通信使から考える日韓交流**  
 朝鮮通信使とは17世紀から19世紀にかけて朝鮮から日本に派遣された外交使節団です。一行はソウルから釜山へ、釜山から海路で対馬に着き、瀬戸内海を経て、江戸までの行程を約1年かけて往復したとされます。1990年代に日本各地で朝鮮通信使行列再現が始まり、2000年代になると韓国釜山にも拡がりました。日韓の地方都市に展開している朝鮮通信使を通じた日韓交流の現況を比較の視点から紹介します。



社会や地域とつながる。  
**CONNECT**